



絆

教育目標「気概にあふれ主体的に考え行動する生徒」

～小さな学校の大きな誇り～

花巻市立湯口中学校

校報 No.12

令和8年5月19日

文責：校長（菊池）

体育祭で得たもの

「初めての体育祭」

1A 高野橋恒乃介

ぼくが今日の体育祭で心に残ったことは、長縄跳びと応援合戦でした。長縄では、いつもの組団練習や総練習の時に、赤組はたったの3回ぐらいしか続かない状態でした。多くても10回くらいでした。それに対して白組は、15回や多くて20回くらい続いていました。練習の時は、このままでは勝つことができないと思って競技作戦係で話し合ったり、意見を言い合ったりしました。その結果、並ぶ順番を変えたりして、練習の時から本番のように自分たちを信じて全員で全力で取り組むことができました。本番では、赤組が25回という新記録を出せた時はとてもうれしかったです。

応援合戦では、組団練習が始まって最初のころは、みんなあまり声が出ていないような気がしました。このままで大丈夫かなと思っていた時、3年生の皆さんがチームが1つになるようにみんなの気持ちを盛り上げてくれたおかげで、1年生がそれに付いていこうという気持ちに変わったのが分かりました。さらにチームが1つにまとまって、それから、練習からみんなが協力してがんばることができました。本番では、いつもよりみんながチーム一丸となって声を出してがむしゃらになってがんばりました。そして、応援合戦、赤組が勝ったときはとてもうれしかったです。結果は赤組は負けてしまったけど、この体育祭を通して、みんなが協力してベストに向かう力がとても身に付いた体育祭だったと思います。この経験をこれからの学校生活の中でも意識して生かしていきたいと思いました。



「心に残った体育祭」

1 A 佐藤結樺

中学生になって初めての体育祭は、とても思い出に残る行事でした。体育祭の前の組団練習では、最初はうまくできるか不安な気持ちがありました。でも、みんなで声をかけ合いながら練習するうちに、「本番では絶対に勝とう」と思うようになりました。特に3年生にとっては最後の体育祭だったので、少しでも力になれるように一生懸命取り組んだつもりです。

本番が始まる前はとても緊張していたけれど、周りのみんなの応援を聞いているうちに、「頑張ろう」という気持ちに変わっていきました。競技が始まってからは、最後まで諦めないことと、仲間と協力することを意識しながら全力を出しました。みんなで大きな声を出して応援したことで、クラスの仲も深まったと思います。

体育祭が終わった時はとても疲れていたけれど、大きな達成感がありました。3年生が最後まで頑張る姿はとてもカッコよく、自分も来年は後輩を引っ張っていきける先輩になりたいと感じた体育祭でした。



「体育祭をふり返って」

2 A 佐々木結奏

今日の体育祭は天気が雨で延期になるかと思っていたけど、赤組・白組の全員で円陣を組んだ後から少しずつ天候が良くなってきて、偶然かもしれないけど、体育祭前の新しい思い出を作ることができて良かった。行進から始まって、全校種目の長縄で3年生が60回以上跳んだことにびっくりしたし、やっぱり凄いなと思った。2年の競技が始まる前には、結乃がみんなに声をかけてたし、円陣も組んで白組のやる気を上げていて、見ていても、一緒にやっても楽しかった。ダンスでは、賞は取れなかったけど、練習以上に1人1人がまとまっていた綺麗だなと感じた。最後に一番盛り上がる競技、リレーでは、白組も青組も練習のおかげでバトンミスもなく、待っている人は走っている人を目でしっかりと追いながらたくさん応援していて、やっぱり締めくくりはリレーだなと改めて思った。最後の白組の円陣を組んだ時も、組団長からの話を聞いたときも、組団長がなつめさんで、白組になれて本当に良かったなと感じた。

「体育祭をふり返って」

2 A 芦澤 希

今日は体育祭。朝に雨が降って、できるか不安なところもあったけど、天気が味方してくれて無事に体育祭ができてよかった。結果は負けてしまったけど、楽しかった。やっぱり、勝たなかったから悔しい。そう思うのは、頑張ったからだと思うから、来年は赤でみんなで勝ちたい。

私は、赤組がこのメンバーでよかったと思う。もちろん違うメンバーでも頑張ったし、楽しかったと思うけど、このメンバーだったから頑張れたこともあると思った。そして、赤組の団長が美結さんでよかったです。

来年は中学校最後の体育祭。今度は自分たちで盛り上げていく番。チームを創り上げていくことも、まとめることも楽なことばかりじゃないと思うけど、最高の体育祭に繋がられるように、みんなで頑張っていきたい。

今日は本当に楽しかった。円陣も組団ごちゃまぜでできて楽しかった。本当に引っ張って、盛り上げてくれた3年生にありがとうでいっぱいです。

「体育祭を振り返って」

3 A 高橋幸大

今回の体育祭は、自分たち3年が主体となり体育祭を実行しました。最初の1回目の練習は1番心配でした。「自分たちでできるのか」「どうやって1・2年生を引っ張ればいいのか」、正直何も分かりませんでした。しかし、団長をはじめ、3年生みんなが勇気を振り絞り、指示を出しました。最初はガタガタな指示でした。それでも1・2年生は全力でついてきてくれました。そこから練習を繰り返し、中間発表の総練習、みんな全力で取り組み、学年種目も応援もリレーも練習の成果を出し切れていたと思いました。そして、ついに最後の練習。総練習の疲れが残っていたのか、行動が遅く、ダンスも全力で踊ってなく、3年生が注意をしても行動が変わらないまま、体育館練習に入りました。3年生の心が折れかけている時、ダンス練習をしていた1・2年生が1人1人全力で声を出し始めました。その声を3年生が聞いて、みんな「よし、やろう」と1人1人が決意を決め、みんなが団結してダンスを踊りきることができました。最後、みんなで円陣を組み、盛り上がって終わりました。

迎えた本番、朝に少し雨が降り、体育祭の開始時間が少し遅れました。それも前の日のテンションをそのまま持ち越し、本番で1人1人が全力で声を出し、応援賞、マスコット賞を取ることができました。結果的に赤組は負けてしまったけど、今までの努力も含めたら、優勝同様だと思います。ついてきてくれた1・2年生には感謝しかありません。

これからの学校生活にも体育祭で学んだことを上手く活かしていきたいと思います。



「最後の体育祭」

3 A 藤井俐流羽

私は、体育祭を通して学んだことや思ったことがあります。

1つ目は、今までの練習などについてです。去年までは、先輩に指示されたことをやるだけだったけど、実際、自分達が3年生になってダンスを考えたりなど、思っていた以上に大変でした。1・2年生に教えたりするのも、上手く教えることができず、難しかったです。

2つ目は、競技などについてです。長縄跳びではいつもは白の方が順調だったけど、本番は赤の方が順調であせっていたけど、3年生ががんばって68回跳べたのでうれしかったです。学年種目では、順調に進むことができたのでよかったです。リレーでは、バトンを渡すのがいつもあんまりうまくできなかったけど、今日はうまくいきました。みんなで全力で応援もしていて、すごいい雰囲気だなと思いました。

3つ目は、終わった後についてです。閉会式で白が優勝と言われた時は、びっくりしました。マスコット賞も応援賞も赤で、白の方が減点などが多くて、正直負けたと思っていたけど、勝ててうれしかったです。そして、団長のなつめさんが言っていたことを聞いて、団長がなつめさんでよかったと思いました。退場をした後、泣いている人がいたり、喜んでいる人がいたりしました。今までががんばってきてよかったと心の底から思いました。

体育祭を通して、自分達がリーダーとなって活動をしていくことの難しさがとても分かりました。また、本番を成功させるには、それまでの準備が大事なことが分かりました。正直、楽しさより疲れの方が大きかったので、3年生ってこんなに大変なんだと実感しました。でも、本番はみんなで協力して、全力でがんばって、勝つこともできたし、最高の体育祭になりました。これからの生活では、準備をしっかりとってから何事にも取り組んでいきたいです。

